

平成28年度の事業計画書

28年 4月 1日から 29年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 SMSC

1 事業実施の方針

平成28年4月より福祉サービス事業の定員を増加した。おんらが村は4名追加して合計24名。サポートシェアハウスいなしきも4名追加して、合計18名。そのため昨年より多くの方の地域生活を支えることに貢献できるようになった。今年度はさらに規模拡大と事業の安定性、利用者様の利益の追求を最大限発揮できるように運営する。

そして市内における障害児のサービスが不足しているため、今年度中に放課後等デイサービスと相談支援事業を設立することで市内における障害児及びご家族のニーズの応えるようにする。

また、生活困窮者の学習支援事業を稲敷市と連携して行うことを進めている。市内にも多くの困窮者がいること、貧困の連鎖を無くすことが喫緊の課題なので、まだ市内には一つもない学習支援事業を設立する。学習支援事業は、平成29年4月より開始できるようにする。

これまでに行ってこなかった市民との交流事業は、昨年より進めてきた福祉政策村会議を5月20日に行った。これを毎月継続して行うことで、市民の福祉への理解と関心を生み出し、市内の福祉政策の改善のための働きかけを行っていけるように運営する。また、市民による様々なワークショップを市民と協力して行い、みんなが主役になれる街づくりを行う。

上記の事業を行うことで、障害者のみの支援を行うことからより多くの市民の福祉を増進させ、バリアのない社会の実現に寄与する。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
自殺に関する調査研究、情報収集及び提供事業	自殺対策イベント	3月	稲敷市	15名	県内、市内の精神疾患、心の病を抱える当事者または家族、支援者 不特定多数	500
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業 特定相談支援事業	相談支援事業所まいるの運営	通年	茨城県稲敷市	2名	茨城県及びその周辺の障害者また社会的入院者 約5.5万人	5000

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	共同生活援助事業サポートシェアハウスいなしきの運営	通年	茨城県稲敷市	7名	茨城県及びその周辺の障害者また社会的入院者約5.5万人	20000
	就労継続支援事業おんらが村の運営	通年	茨城県稲敷市	5名	茨城県及びその周辺の障害者また社会的入院者約5.5万人	15139
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障害児相談支援事業の運営	通年	茨城県稲敷市	2名	稲敷市及びその周辺の市町村の障害児者とその家族約1,800人	3000
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	放課後等デイサービス事業所の運営	通年	茨城県稲敷市	5名	稲敷市及びその周辺の市町村の障害児者とその家族約1,800人	5000
生活困窮者の子どもの学習支援事業、その他の自立促進事業	子どもの学習支援事業の設立準備	H29.4~	茨城県稲敷市	2名	稲敷市内の生活困窮者の子供約1,000人	2000
引きこもりサポート事業		予定なし				
市民との交流事業		予定なし				

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
物品販売事業		予定なし			